News

2016年度 下半期スタート！

10月に入り、暑い日々から段々と過ごしやすい気温へと変わってきた。2016年度もいよいよ下半期に突入し、M2は修論、M1は中間発表、B4は卒論に向けて、焦る気持ちを各々抱えつつ、研究を進めていかなければならない。より身を引き締めて励んでいきたいと思しますので、食品・栄養化学研究室一同をこれからもよろしく願いたします。

応用生命科学実験 I

10月18日(火)より、応用生命化学コース学部2回生の学生実験である応用生命化学実験 I の第2部「生体成分の一般分析」がスタートした。生体成分の一般的な分析方法の習得を目的としており、食品における水分、タンパク質、脂肪、灰分の定量を、例年通り本研究室が担当する。今年は白米、玄米、緑茶、大豆、わかめ、舞茸、パプリカを始めとする計15種類が用意され、これらの食品が一同に集結した実験室では何とも形容しがたい匂いが漂っていた。

実験中の様子をパシャリ。カメラを構えると、楽しそうに写りこんでくれた。賑やかな学年である。

タンパク質の定量のため、ケルダール法における水蒸気蒸留の様子。TA は装置の組み立てなどのサポートに当たった。

実験中は待ち時間も多いため、その間にレポート作成に取り組む学生が多く見られた。本実験は週3回、5週間に渡って行われるが、2年生にとってはまだ始まったばかりである。これから約1年半の間、学生実験の日々が続くため、気合を入れて頑張ってもらいたい。

第31回日本香辛料研究会

10月8日(土)、9日(日)に滋賀県長浜市にて第31回日本香辛料研究会が開催され、本研究室から中村紫乃(M2)が参加した。今回会場が地元ということで、何か感慨深いものを感じながらの学会発表となったのではないだろうか。

会場横の琵琶湖をバックに記念撮影。風の強さが写真からでも伝わってくる。

誕生日会

10月13日(木)、この日岸田佳織(M2)が誕生日を迎え、ケーキが

用意された。前回の誕生日会ではろうそくに火を付ける段階で当事者にばれてしまっていたが、今回は悟られることなく、無事にお祝いすることができた。

突然呼ばれ目の前のケーキに驚く岸田(M2、中央)

笑顔の渡辺衛央(M1、左)と黙々と食べる坂口香奈(M2、右)

おめでとうございます！

学会発表

第31回 日本香辛料研究会
長浜勤労者福祉会館・「臨湖」
2016年10月8日(土)-9日(日)

○中村紫乃、橋本堂史、網野紗与、水野雅史「アリルイソチオシアネートおよびその代謝物の肝がん細胞に及ぼす影響」講演要旨集 P.11

編集後記

今年も残すところあと2ヶ月です。時間の経つ早さに日々、驚きと恐怖、そして焦りを感じています。季節の変わり目なので、体調を崩さぬように気を付けたいですね。

竹村 有裕美(M1)